



鉢山中だより

渋谷区立鉢山中学校発行
令和3年 2月 1日
第11号
〒150-0032
渋谷区鶯谷町9-1

鉢山中学校教育目標

- よく考え、すすんで学ぶ生徒の育成
- 創造性豊かな生徒の育成
- 健康で明るい生徒の育成

冬来たりなば春遠からじ

1月8日に出された2回目の「緊急事態宣言」から3週間が過ぎました。当初2月7日には解除される予定でしたが、延長される見込みのようです。1回目の「緊急事態宣言」の時とは違い学校は、感染防止を徹底しながら、通常に授業を続けています。延長の有無にかかわらず引き続き、感染防止を一人一人が徹底して、生活していきましょう。

さて、表題の「冬来たりなば春遠からじ」というフレーズを聞いたことのある人は多いと思います。「寒く厳しい冬が来たということは、暖かい春が目の前まで来ている」という事から転じて、「つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来る」といった意味に使われます。コロナ禍の今の状況にもあてはまると思います。また、自らの進路選択にがんばっている3年生にも、身に染みる言葉ではないでしょうか。あと少しです、がんばりましょう。

「冬来たりなば春遠からじ」ですが、このフレーズは日本の俳句や中国の漢詩から来た言葉ではありません。イギリスの詩人シェリーという人の詩の一節です。原文は、"If winter comes, can spring be far behind?"というものです。これを日本語にうまく訳して、我々にもおなじみの言葉として定着したようです。いずれにしても、冬の中でも一番寒いこの時期をしっかりと耐えて、間もなくやってくる春という「希望」に向けて準備をしておきましょう。

今から約100年前の1918年～1920年に今回と同じように世界的に蔓延した「スペイン風邪(A型インフルエンザ)」も人類は克服してきました。そして今、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、日本でも間もなく接種が開始される予定です。少し不自由な生活はもう少し続くと思いますが、「希望」を忘れずに日々を過ごしていきましょう。

先月の鉢山中だよりでは「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」ということを書きましたが、すでに1月は行ってしまいました。残るは「逃げる、去る」の2か月です。2月24日からは、後期期末考査です。本年度の最後の締めに向けて準備を早めに進めていきましょう。

第2回プログラミング教室

1月9日(土)には、土曜授業が実施され、その中で各学年で第2回プログラミング教室が実施されました。今回は理数教育重点校である本校の方針を踏まえて、プログラミングによる図形の作成をしました。様々な図形をプログラミングの技術で簡単に作成できることを確認し、実際に作成していきま



ました。

鉢山中プチ駅伝

1月9日(土)の土曜授業の放課後「鉢山中プチ駅伝」が実施されました。本来1月24日に予定されていた「しぶやニュー駅伝」が中止となり、その選手として練習を続けてきた生徒の解散式を兼ねて実施されました。本番と同様の距離を走り、校庭の中での小さな駅伝大会が行われました。この努力はいつか報われます。



放課後避難訓練

1月12日(火)には、部活動や放課後学習をしていた生徒を対象に、予告なしの避難訓練が実施されました。いつもの避難訓練とは違う集団の中でも適切に避難することが出来ました。どんな時も冷静に行動できるようにしましょう。



書初め会

1月15日(金)には、各学年で2時間ずつ時間を取って、体育館で書初め会が実施されました。初めに外部講師の先生のお手本を見て、各自の作品に取り掛かりました。例年より大きく距離を取っての書初め会になりましたが、「書初め」という伝統行事を楽しみ、それぞれに良い作品を仕上げることができました。



2月の主な予定

- 2月 2日(火) 避難訓練
- 2月 3日(水) 教育指導課訪問
- 2月10日(水) 小中連携の日
- 2月12日(金) アメリカ大使館とのオンライン交流
- 2月13日(土) 土曜授業・新入生保護者説明会
- 2月21日(土) 都立高校一般入試
- 2月24日(水)～26日(金) 後期期末考査



1月はあっという間に「行って」しまいました。コロナ禍でたいへんだった本年度も残すところあと2か月を切りました。3年生の中には、すでに推薦で進路先を決めて校長室に報告に来てくれている生徒もいます。例年とは違い、距離をとってマスク越しに報告を受けましたが、皆、希望に目を輝かせていたのが印象的です。多くの3年生はここからが受験本番です。当日、全力を出せるようがんばってください。1・2年生は、この時期が受験本番なのだ意識してください。(文責 校長 島山直也)